

（別紙）工事及び委託業務の端数処理の留意事項について

農政部における工事及び委託業務の積算については、土地改良工事積算基準により算出していますが、下記のとおり、一部算出方法が異なりますので御留意ください。

記

1 土木工事における端数処理の留意点 ※下線部が異なる部分です。

- ①単価表の各構成要素の数量×単価＝金額は、1 円までとし、1 円未満を四捨五入する。
- ②直接工事費の明細金額は 1,000 円単位とし、1,000 円未満を四捨五入する。
- ③共通仮設費の金額は 1,000 円単位とし、1,000 円未満を四捨五入する。
- ④現場管理費の金額は 1,000 円単位とし、1,000 円未満を四捨五入する。
- ⑤一般管理費等の金額は 1,000 円単位とし、1,000 円未満を切り捨てる。
- ⑥工事価格の金額は 10,000 円単位とし、10,000 円未満は一般管理費等の金額で調整する。

＜土木工事における端数処理の計算例＞

直接工事費条件：単価表の数量 54,321、単価表の単価 178.8 円

諸経費条件：共通仮設費率 11.64%、現場管理費率 39.12%、一般管理費等率 21.19%

契約保証補正 0.4%

- ①単価表の構成要素の金額 $54,321 \times 178.8 = 9,712,594.8 \div 9,712,595$ 円
 - ②直接工事費の明細金額 $9,712,595 \div 9,713,000$ 円
 - ③共通仮設費 $9,713,000 \times 0.1164 = 1,130,593.2 \div 1,131,000$ 円
 - 上記より、純工事費＝10,844,000 円
 - ④現場管理費 $10,844,000 \times 0.3912 = 4,242,172.8 \div 4,242,000$ 円
 - 上記より、工事原価は、15,086,000 円
 - ⑤一般管理費等 $15,086,000 \times 0.2119 + 15,086,000 \times 0.0004 = 3,202,757.8 \div 3,202,000$ 円
 - ⑥工事価格計 $15,086,000 + 3,202,000 = 18,288,000 \div 18,280,000$ 円 端数調整額 8,000 円
- 端数調整後の一般管理費等 $3,202,000 - 8,000 = 3,194,000$ 円

2 施設機械工事における端数処理の留意点 ※下線部が異なる部分です。

- ①単価表の各構成要素の数量×単価＝金額は、1 円までとし、1 円 未満を四捨五入する。
- ②直接製作費、直接工事費の明細金額は 1,000 円単位とし、1,000 円未満を四捨五入する。
- ③共通仮設費の金額は 1,000 円単位とし、1,000 円未満を四捨五入する。
- ④現場管理費、据付間接費の金額は 1,000 円単位とし、1,000 円未満を四捨五入する。
- ⑤間接労務費、工場管理費の金額は 1,000 円単位とし、1,000 円未満を四捨五入する。

- ⑥設計技術費の金額は1,000 円単位とし、1,000 円未満を四捨五入する。
⑦一般管理費等の金額は1,000 円単位とし、1,000 円未満を切り捨てる。
⑧工事価格の金額は10,000 円単位とし、10,000 円未満は一般管理費等の金額で調整する。

<施設機械工事における端数処理の計算例>

直接製作費（材料費）条件：単価表の数量 54,321、単価 178.8 円

直接製作費（労務費）条件：単価表の数量 123、単価 25,500 円

直接工事費（据付工）条件：据付労務費 1,449,665 円

諸経費条件：共通仮設費率 20.08%、現場管理費率 23.42%、据付間接費対象額 1,331,716 円

間接労務費対象額 2,352,375 円、工場管理費対象額 1,097,775 円

設計技術費対象額 603,086 円、一般管理費等率 25.29%、契約保証補正 0.4%

①単価表の構成要素の金額

直接製作費（材料費） $54,321 \times 178.8 = 9,712,594.8 \div 9,712,595$ 円

直接製作費（労務費） $123 \times 25,500 = 3,136,500$ 円

②直接製作費及び直接工事費の明細金額

直接製作費 $9,712,595 + 3,136,500$ 円 $= 12,849,095$ 円 $\div 12,849,000$ 円

直接工事費 $1,449,665$ 円 $\div 1,450,000$ 円

③共通仮設費 $1,450,000 \times 0.208 = 301,600 \div 302,000$ 円

上記より、純工事費 $= 1,450,000 + 302,000 = 1,752,000$ 円

④現場管理費及び据付間接費

現場管理費 $= 1,752,000 \times 0.2342 = 410,318.4 \div 410,000$ 円

据付間接費 $= 1,331,716 \div 1,332,000$ 円

⑤間接労務費及び工場管理費

間接労務費 $= 2,352,375 \div 2,352,000$ 円

工場管理費 $= 1,097,775 \div 1,098,000$ 円

⑥設計技術費 $603,686 \div 604,000$ 円

上記より、工事原価 $= 12,849,000 + 1,752,000 + 410,000 + 1,332,000 + 2,352,000 + 1,098,000$
 $+ 604,000 = 20,397,000$ 円

⑦一般管理費等 $20,397,000 \times 0.2529 + 20,397,000 \times 0.0004 = 5,166,560.1 \div 5,166,000$ 円

⑧工事価格計 $20,397,000 + 5,166,000 = 25,563,000 \div 25,560,000$ 円 端数調整額 3,000 円

端数調整後の一般管理費等 $5,166,000 - 3,000 = 5,163,000$ 円

3 測量業務における端数処理の留意点 ※下線部が異なる部分です。

- ①各構成要素の金額（設計数量×単価）は、1 円単位（小数点以下四捨五入）とする。
②単価表の合計金額は、原則として、端数処理は行わない。
③諸経費は、1,000 円未満を切り捨てるものとする。
④業務価格は、10,000 円単位とし、10,000 円未満は諸経費の金額で調整する。

<測量業務における端数処理の計算例>

直接測量費条件：単価表の数量 5.1、単価表の単価 55,296 円、測量経費 35,000 円

諸経費条件：諸経費率 91.2%

①単価表の構成要素の金額 $5.1 \times 55,296 = 282,009.6$ 円 $\div 282,010$ 円

②直接測量費（単価表の合計金額） $282,010 + 35,000 = 317,010$ 円

③諸経費 $317,010 \times 0.912 = 289,113.12 \div 289,000$ 円

④業務価格 $317,010 + 289,000 = 606,010 \div 600,000$ 円 端数調整額 6,010 円

端数調整後の諸経費 $289,000 - 6,010 = 282,990$ 円

4 調査業務における端数処理の留意点 ※下線部が異なる部分です。

①各構成要素の金額（設計数量×単価）は、1 円単位（小数点以下四捨五入）とする。

②単価表の合計金額は、原則として、端数処理は行わない。

③間接調査費は、端数処理は行わない。

なお、施工管理費は、1,000 円単位とし、1,000 円未満を切り捨てる。

④純調査費は、端数処理は行わない。

⑤諸経費は、1,000 円未満を切り捨てするものとする。

⑥業務価格は、10,000 円単位とし、10,000 円未満は諸経費の金額で調整する。

<調査業務における端数処理の計算例>

直接調査費条件：単価表の数量 54.321、単価表の単価 18,700 円

電子成果品作成費 65,000 円、旅費交通費 7,578 円

諸経費条件：諸経費率 81.9%

①単価表の構成要素の金額 $54.321 \times 18,700 = 1,015,802.7$ 円 $\div 1,015,803$ 円

②直接測量費（単価表の合計金額） $1,015,803 + 65,000 = 1,080,803$ 円

③施工管理費（間接調査費内） $1,080,803 \times 0.007 = 7,565.6 \div 7,000$ 円

間接調査費 $7,578 + 7,000 = 14,578$ 円

④純調査費 $1,080,803 + 14,578 = 1,095,381$ 円

⑤諸経費 $1,095,381 \times 0.819 = 897,117.04 \div 897,000$ 円

⑥業務価格 $1,095,381 + 897,000 = 1,992,381 \div 1,990,000$ 円 端数調整額 2,381 円

端数調整後の諸経費 $897,000 - 2,381 = 894,619$ 円

5 設計業務における端数処理の留意点 ※下線部が異なる部分です。

①各構成要素の金額（設計数量×単価）は、1 円単位（小数点以下四捨五入）とする。

②単価表の合計金額は、原則として、端数処理は行わない。

③設計業務原価（直接原価+その他原価）は、端数処理は行わない。

④一般管理費等は、1,000 円未満を切り捨てるものとする。

⑤業務価格は、10,000 円単位とし、10,000 円未満は一般管理費等の金額で調整する。

＜設計業務における端数処理の計算例＞

直接人件費条件：単価表の数量 1.2、単価表の単価 443,647 円

電子成果品作成費 40,000 円、

諸経費条件：その他原価対象額 286,684 円、一般管理費等率 53.85%

①単価表の構成要素の金額 $1.2 \times 443,647 = 532,376.4 \div 532,376$ 円

②直接原価 $532,376 + 40,000 = 572,376$ 円

③設計業務原価 $572,376 + 286,684 = 859,060$ 円

④一般管理費等 $859,060 \times 0.5385 = 462,603.8 \div 462,000$ 円

⑤業務価格計 $859,060 + 462,000 = 1,321,060 \div 1,320,000$ 円 端数調整額 1,060 円

端数調整後の一般管理費等 $462,000 - \underline{1,060} = 460,940$ 円